

墨田区立図書館

・コミュニティ会館図書室

Newsニュース



図書館電話案内サービス

TEL : 3 6 1 2 - 6 0 4 8

図書館探検隊!

子ども読書推進活動絵本ライブを開催しました!

平成24年2月5日(日)に、あずま図書館で絵本作家の藤本ともひこ氏を講師に招いて、「絵本を楽しもう! 藤本ともひこ絵本ライブ」を行いました。

藤本ともひこ氏による自作絵本の読み聞かせ、絵本にちなんだ遊びや歌により子どもと保護者が絵本を介して楽しい時間を過ごしました。

また、講師からは、「子どもを膝に乗せて絵本を読んであげてほしい。今しかない大事な時間を絵本とともに楽しんでほしい。」との保護者への熱いメッセージや絵本にこめた思いなどのお話をいただきました。



藤本ともひこ氏の絵本ライブの様子です。

学校図書館運営懇談会を開催しました!



平成24年2月25日(土) 両国小学校の図書室において、学校図書館運営懇談会を開催しました。

児童文学評論家の赤木かん子先生をお招きし、『図書整備』をテーマにしたご講演がありました。

また、1月28日(土)に実施した江戸川区立一色中学校図書室見学会の報告も行いました。

参加された区立小・中学校図書館ボランティアや図書担当教諭の皆さんから、活発な質問があり、よりよい学校図書館運営への気持ちが伝わってきました。



見学会の報告をしている様子です。



こんにちは。

寺島図書館 です。

【図書館の建物】

寺島図書館は、地域の人々の熱意と協力により、昭和4年現在の場所（地蔵坂通り沿い、府立七中=現：墨田川高校の隣り）に設立されました。

以来、地域の書齋として人々に親しまれ現在に至っています。

現在の建物は、昭和40年に建築されたものです。平成25年3月末、現在京成曳舟駅前に建設中の（仮称）統合新図書館に移転します。移転計画については、詳細が決まり次第お知らせいたします。



寺島図書館

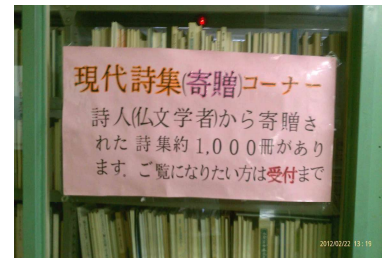
【図書館のご案内】

1階は、雑誌の最新号や家庭・生活関係の本と児童1室（幼児向け）・児童2室（小学生向け）、2階に一般書全般と雑誌のバックナンバー、3階が地域資料や電話帳及び、学習室となっています。

【図書館の特色】

寺島図書館は、文学書の収集に力を入れています。過去のベストセラー作品などを選出して2階に「ベストリクエスト」コーナーや「ベストリクエスト文学」コーナーを設置していますので、ぜひ一度ご覧になってください。

また、本棚に見当たらないものにつきましては、お気軽に職員までリクエストください。区内の図書館に無い場合は、他区の図書館から取り寄せてご提供いたします。



【図書館からひとこと】

現在は図書館から西の方向に目を向けると、話題の東京スカイツリーが見えます。住宅地と小さな商店街に囲まれた静かな場所です。お立ち寄りください。お待ちしております。



所在地

〒131-0032

墨田区東向島三丁目34番4号

電話：03-3611-4610

ファックス：03-3611-4821（障害者用）

最寄駅

曳舟駅（東武・京成）徒歩8分

東向島一丁目（バス）徒歩3分



寺島図書館



ベストリクエスト

順位	書名	著者	予約数
1	麒麟の翼	東野圭吾著	348
2	謎解きはディナーのあとで 1	東川篤哉著	328
3	マスカレード・ホテル	東野圭吾著	325
4	下町ロケット	池井戸潤著	296
5	人生がときめく片づけの魔法	近藤麻理恵著	265
6	ジェノサイド	高野和明著	261
7	真夏の方程式	東野圭吾著	242
8	謎解きはディナーのあとで 2	東川篤哉著	208
9	舟を編む	三浦しをん著	159
10	県庁おもてなし課	有川浩著	149

寄贈のお願い

予約が集中している資料については、複数冊購入していますが、早期の提供ができない状況です。上記の予約多数図書で、読み終えてご家庭でお持ちのものがありましたら、図書館への寄贈をご検討下さい。ご寄贈いただける場合は、お手数ですが、図書館・コミュニティ会館にお越しの際にお持ち下さい。お持ちいただいた本は、図書館の資料として活用させていただきます。

私の本棚



『手づくり歳時記12か月』

宇田川一美著／著 資料ID 312879778

「つくる」ことは、皆さん好きですか？ 私は大好きで、本を参考に色々作っています。作るといっても様々です。料理やお菓子を作る、紙や木、布などで作る、生活の中で作る作業はたくさんあります。料理は生きていくためには必要な作業ですが、図書館には様々な料理の本があります。その中で私の愛用していた料理本を紹介します。栗原はるみ著の「こちそうさまがききたくて」シリーズ、結婚当初この中からレパートリーを増やし、今も定番になった料理がいくつかあります。斬新な写真と食器や雑貨などがセンス良く、見ていると作りたい気持ちを掻き立てる本です。お菓子の本では、稲田多佳子著の「何度も試作しようやくたどりついた」ほんとうに作りやすい焼き菓子レシピ」は超人気サイトから出来上がった本です。この本の最初に紹介されている「くるみのココロクッキー」は市販されている「スノーボール」のような丸くて愛らしいお菓子です。すこぶる簡単ですが、プロが作ったようにおいしくできます。工作の本では、宇田川一美著の「気

持ちを伝える手づくり文房具」は、簡単でセンスが光るカードやラッピングや小物などの作り方が紹介されています。同著者で「手づくり歳時記12か月」は親子で季節の行事を存分に楽しみながらつくれる工作のレシピが載っています。行事の由来を子どもと話しながら作るのも楽しいですね。使う材料は簡単に手に入るものばかりです。これらの本はすべてシリーズが何冊も出版されているのでそれらもあわせてご利用ください。(著者名で検索するとシリーズを探せます)四月は入園入学の季節です。入園入学グッズを作る本もたくさん出ています。キャラクター生地のものが市販されていますが、数年に一度の事なのでこれを機にミシンを動かしオリジナルグッズを作ってみてはどうでしょうか？書名検索で「通園通学」と入力すると、たくさんの本がヒットします。予約して取り寄せてみてください。「つくる」本はまだまだ紹介したい本がたくさんありますので、第二弾としてまたの機会に紹介したいと思います。「つくる」ことを楽しめるようになると、経済的にも心も生活も豊かに暮らせるような気がします。アイデアのいっぱいあった本が創作活動を応援してくれるので、いくつになってもつくる楽しさを持ち続けていけたらいいなと思います。

(ブックサークル 玉手箱 えとよん)

今月の特集コーナー

館名	今月の特集コーナー
あずま図書館	一般書：「芥川賞・直木賞受賞作品を楽しむ」 Y・A：「WE LOVE TOKYO」 児童書：「ともだちの本」 窓ぎわの児童書：「雪とこおり」
緑図書館	一般書：「読む東京」 ヤングアダルト〔Y・A〕：「2011年ベストコレクション」 児童書：「春のおとずれ」
寺島図書館	児童2室：「北極・南極」
立花図書館	一般書：「大人チャレンジ」 児童書：「ミクロの世界」 えほんのひろば：「むかし、むかし」
八広図書館	一般書：「たまには、外国文学も」「深海」「確定申告」 児童書：「おともだち」
東駒形コミュニティ 会館図書室	一般書：「三月といえば・・・」 児童書：「元気らんまん」「はるがくるよ」
梅若橋コミュニティ 会館図書室	一般書：「新生活にむけて」 児童書：「はるのあしおと」
横川コミュニティ 会館図書室	一般特集1：「同級生」 一般特集2：「社会史～日本文化とときたり～」 児童特集：「学校に行こう」

高齢者施設訪問貸出・お話し会を行いました。

平成24年2月9日、特別養護老人ホーム「たかなホーム」を訪問しました。墨田区の図書館では、区内8カ所の高齢者施設に毎月1回出かけて行き、本の貸し出しやお話し会を行っています。これにあわせて、毎回高齢者サービス協力者の方々が紙芝居の上演や絵本の読み聞かせを行って下さいます。このサービスは皆さんにとっても喜ばれています。



高齢者サービス協力者が本の読み聞かせをしてくださっている様子です。

職場体験学習会が行われました。

2月7日（火）～9日（木）あずま図書館において、中学生による『職場体験学習』が行われました。

貸出や返却などのカウンター業務や返却された本を書架に戻す配架のほかに、本の登録や視覚障害者のための点字を打つ体験等、普段皆様の目に触れない“裏方”の仕事にも、目を輝かせながら真剣に取り組んでいました。

このような体験が、図書館や本への親しみをはぐくむとともに、健全な道徳観、職業観をはぐくむ一助となる事を願っております。



点字体験をしている様子です。

すみだの歴史

しいな りんぞう やぎ よしのり
椎名麟三と八木義徳

その独特の重い文体で戦後文学の旗手となった作家椎名麟三は、まだデビューを果たす前の昭和20年3月10日の未明、まだ焦りつづける本所の焼け跡の至る所に死体が残る中を、文学仲間の船山馨と妻の家族を捜し歩いています。椎名麟三は昭和10年から18年の間、江東橋4丁目45番地の妻の実家に住んでいました。共産党員だった椎名は昭和8年に転向して刑務所を出ています。自殺を考える心の深い傷を癒したのは、妻と本所の人々だったのではないのでしょうか。

小説『風と雨の日に』で彼は本所で生活していた頃の事を思っており、そこは典型的な庶民と云われた人々の住んでいた、私の故郷と云っている所だった。私はそれらの人々の絶望的な退廃を憎みながら、その故に私の愛さずには居られない人々だった。人から愛された経験のない私は、そこで人から愛されることの楽しさを学んだところだった。私は実に多くのものを学んだ。幸福や自由や愛や真実などという一切の崇高な観念と云われるものをそこに住んでいる人々から体験したのだった。」と書いています。椎名麟三のデビュー作となった『深夜の酒宴』は、豎川沿いの焼け残った倉庫を転用した

アパートで暮らす人々を描いています。主人公である私は何時も雨が降っているような音の感覚から抜け出せないうままです。自分が飢えている事すら無関心で、倉庫のアパートで暮らす人々を侮蔑したまま自分もそこから抜けだそうとします。養父に死んでしまえといわれて渡されたローブで首をくくろうとする彼を救ったのは彼が豚のようだといつていた女性で、酔いつぶれた彼の頭を彼女が子どものように撫でてくれるのをぼんやりと覚えているというところで、この短編は終わっています。

もうひとり、焼け跡の本所から戦後をスタートさせた作家がいます。昭和19年中国を従軍中に芥川賞をとった作家八木義徳です。八木は中国から復員してきたとき、まさか自分の家が焼けているとは思っていなかったといえます。昭和20年の5月25日の空襲で東中野の自宅は焼けていたのです。しかも、3月10日の空襲で、本所豎川町の妻の実家で妻と子が焼け死んだことも知らなかったのです。別居していた妻と父である自分の顔も覚えられないほど幼かった子どもに再会して、もう一度家族の絆をとりのもどそうと、そればかり考えて帰って来たのに、焼け死んでいたのです。本所の焼け跡に立ったのは昭和21年7月、江東の人々は一体何処へ行ってしまったのかと思うほど焼け野原で、その果てに青い海の色を発見して八木は「ああ、海が見える」と声をあげます。豎川町には一軒の家もなく、

ようやく豎川一丁目の隣組長が住むという小屋を探して訪ね、そこで初めて妻と子の最後を知ることができたのです。今もある立川一丁目の大正湯の辺りにあった広場まで母と子はしつかり手を繋いで逃げてきて炎に焼かれてしまったのです。八木はおおずと隣組長という老人に聞いてみます。「さぞ熱かったですよね」と、しかし老人が「熱いも苦しいもありやしません。何しろもう夢中なんですから」と言うのを聞いて、ようやく何時も背中に感じていた妻や子が被ったに違いない火の熱さが冷えていくのを覚えます。八木は老人に聞いた大正湯の広場に行ってみます。その夏の繁みの中に小さな白い花が咲いているのを見つけて一輪を手にとると、遠い思い出のような匂いがしたといえます。これは『相聞歌』という小説を要約したものです。『母子鎮魂』は本所で亡くなった妻子に呼びかけるように語られる小説です。また、『命三つ』では錦糸町の岩村という戦友を回想して書いています。

(真津志麻記)



昭和20年、終戦直後に米軍が撮影した、両国、千歳方面の焼け跡

緑図書館(すみだ文化講座)と 資料展【3月】

すみだ文化講座 151 座談会「戦争のあった頃」

講師：斉藤昭一氏・黒木 宏氏

日時：3月11日(日)
午後2時～4時

場所：緑図書館3階学習室

資料展

「空襲・疎開体験資料展」

三二資料展

「焼け跡から戦後を生きた作家たち」

期間：3月3日(土)～3月25日(日)

場所：緑図書館1階、3階展示コーナー

墨田区立図書館・図書室 3月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
<p>14日(水曜日)の緑図書館の「こうさく会」は『じかんわりスタンドをつくらう』です。</p> <p>28日(水曜日)のあずま図書館の「こうさく会」は『プラ板でキーホルダーをつくらう』です。</p> <p>11日(日曜日)の緑図書館の「すみだ文化講座」は、一般向けの行事です。行事の詳細は、各館に直接お問合せください。</p>				<p>1 緑「小さい子どものためのおはなし会」10:30~</p>	<p>2 横「おはなしのじかん」15:45~</p>	<p>3 八「おはなしとあそびのじかん」10:30~ 立「おはなし会」14:00~ 東「おはなしのもり」15:00~ 梅「おはなし会」15:00~</p>
4	<p>5 東・梅・横 コミュニティ 図書室休館</p>	6	<p>7 東「おはなしれっしや」10:30~ あ「おはなしのじかん」15:15~</p>	8	<p>9 横「おはなしのじかん」15:45~</p>	<p>10 八「おはなしとあそびのじかん」10:30~ あ「あそびとおはなし会」11:00~ 立「おはなし会」14:00~ 梅「おはなし会」15:00~</p>
<p>11 緑「すみだ文化講座」14:00~</p>	12	13	<p>14 八「おひざでえほん」11:00~ 緑「こうさく会」15:15~</p>	<p>15 館内整理日 全館休館</p>	<p>16 横「おはなしのじかん」15:45~</p>	<p>17 八「おはなしとあそびのじかん」10:30~ 立「おはなし会」14:00~ 梅「おはなし会」15:00~</p>
<p>18 あ「小さい子どものためのおはなし会」11:00~</p>	19	春分の日 20	<p>21 あ「おはなしのじかん」15:15~ 緑「おはなしのへや」15:15~</p>	22	<p>23 横「おはなしのじかん」15:45~</p>	<p>24 八「おはなしひろば」10:30~ 立「おはなし会」14:00~ 梅「おはなし会」15:00~</p>
25	26	27	<p>28 あ「こうさく会」15:15~</p>	29	<p>30 横「おはなしのじかん」15:45~</p>	<p>31 八「おはなしとあそびのじかん」10:30~ 立「おはなし会」14:00~</p>

あずま図書館
文花 1-19-1
電話:3612-6048

緑図書館
緑 2-24-5
電話:3631-4621

寺島図書館
東向島 3-34-4
電話:3611-4610

立花図書館
立花 6-8-1-101
電話:3618-2620

八広図書館
八広 5-10-1-104
電話:3616-0846

**東駒形コミュニティ
会館図書室**
東駒形 4-14-1
電話:3623-1141

**梅若橋コミュニティ
会館図書室**
堤通 2-9-1
電話:3616-1101

**横川コミュニティ
会館図書室**
横川 5-9-1
電話:5608-4500

すみだ女性センター
押上 2-12-7-111
電話:5608-1771

【開館時間】

火曜日~土曜日・・・9:00~20:00

日曜日・月曜日・祝日・・・9:00~17:00

コミュニティ会館図書室は、

月曜日の開館時間が9:00~20:00です。

【休館日】

館内整理日《毎月第3木曜日(祝日にあたる場合は翌日)》、年末年始
コミュニティ会館図書室は、毎月第1月曜日も休館日です。